



# 地方創生交付金 対象事業評価結果

常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を経て

～変わるまち 変わらぬ思い 常総市～

常総市総務部行政経営課

平成30年11月

# 目次

## 02 地方創生とは？

- 03 地方創生 / まち・ひと・しごと創生法
- 04 常総市の取り組み / KPI (ケイピーアイ)
- 05 常総市人口ビジョン・総合戦略の構成
- 06 総合戦略の進捗管理

## 07 地方創生関係交付金

- 08 地方創生交付金の概要①
- 09 地方創生交付金の概要②

## 10 交付金事業評価結果

- 11 No.1 地域コミュニティの再構築と災害に強い  
小さな拠点づくり事業
- 13 No.2 豊田城改革プロジェクト  
～市民が自慢できる「お城」を目指して～



# || 地方創生とは？

人口減少や雇用減少などに苦しんでいる**地方自治体の活性化**を目指すこと。第二次・安倍内閣で使用された用語。

【引用：日本大百科全書】

## まち・ひと・しごと創生法

地方創生を実現させるために、2014年11月に国会で可決・成立された法律。この法律に基づき、同年12月に、取組みの指針となる「**まち・ひと・しごと創生長期ビジョン**」及び「**まち・ひと・しごと創生総合戦略**」が定められた。

国での地方創生の動きを受け、2016年6月に「**常総市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略**」(以下「常総市人口ビジョン・総合戦略」)を策定した。

- 計画期間 **2016年～2020年**までの**5年間**

## KPI (ケイピーアイ)

重要業績評価指標のこと。組織において、業績の評価を定量的に評価するための指標。

「**K**ey **P**erformance **I**ndicator」の略。常総市人口ビジョン・総合戦略では、このKPIの**数値的達成度**により**進捗管理**を行う。

# 常総市人口ビジョン・総合戦略の構成

## 2つの人口目標

- 2020年国勢調査人口 **59,000** 人を堅持する。
- 2060年国勢調査人口 **47,000** 人を堅持する。

## 2つの戦略目標

- 現時点で 1.39 と全国平均（H28年 1.44）よりも低い合計特殊出生率を、2030年までに **1.80**、2040年までに **2.10** に上昇させる。
- 転出超過の加速傾向から脱却し、転出超過を回避する。

## 4つの戦略分野

戦略分野1 常総市における安定した雇用を創出する	戦略分野2 常総市への新しいひとの流れをつくる	戦略分野3 常総市における若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	戦略分野4 時代に合った常総市をつくり、安心な暮らしを守るとともに、常総市と他の地域を連携する
<b>市民市内在勤人口率</b> 現況：56%（2010年国勢調査） 目標：60%（2020年国勢調査）	<b>子育て世代（20～49歳）転入出人数</b> 現況：265人転出超過（2012年10月1日～2015年9月30日） 目標：転入超過（2017年10月1日～2020年9月30日）	<b>合計特殊出生率</b> 現況：1.39（2008年～2012年） 目標：1.50（2018年～2022年）	<b>市民からの苦情・意見件数</b> 現況：2,098件（2012年度） 目標：1,000件（2020年度）
<b>県内市町村民所得順位</b> 現況：15位（2012年度） 目標：10位以内（2020年度）	<b>豊田城周辺施設利用人数</b> 現況：10万人（2014年度） 目標：15万人（2020年度）	<b>待機児童数</b> 現況：16人（2015年10月1日現在） 目標：0人（2020年10月1日現在）	<b>1,000人当たり犯罪率順位</b> 現況：17位（2015年） 目標：3位（2020年）
<b>女性の就業率</b> 現況：48%（2010年国勢調査） 目標：50%（2020年国勢調査）	<b>休日滞在人口率</b> 現況：1.76倍（2014年） 目標：2.30倍（2020年）	<b>学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合</b> 現況：88.7%（2015年） 目標：90.7%（2020年）	<b>広域および産官学金の連携事業実施件数</b> 現況：15件（2015年） 目標：23件（2020年）

人口目標・戦略目標の達成度を測定

## 戦略 KPI

- 4つの戦略分野ごとに3つの**戦略 KPI**を設定（ $4 \times 3 = 12$ ：戦略 KPI は合計 12 個）

戦略 KPI の達成度を測定

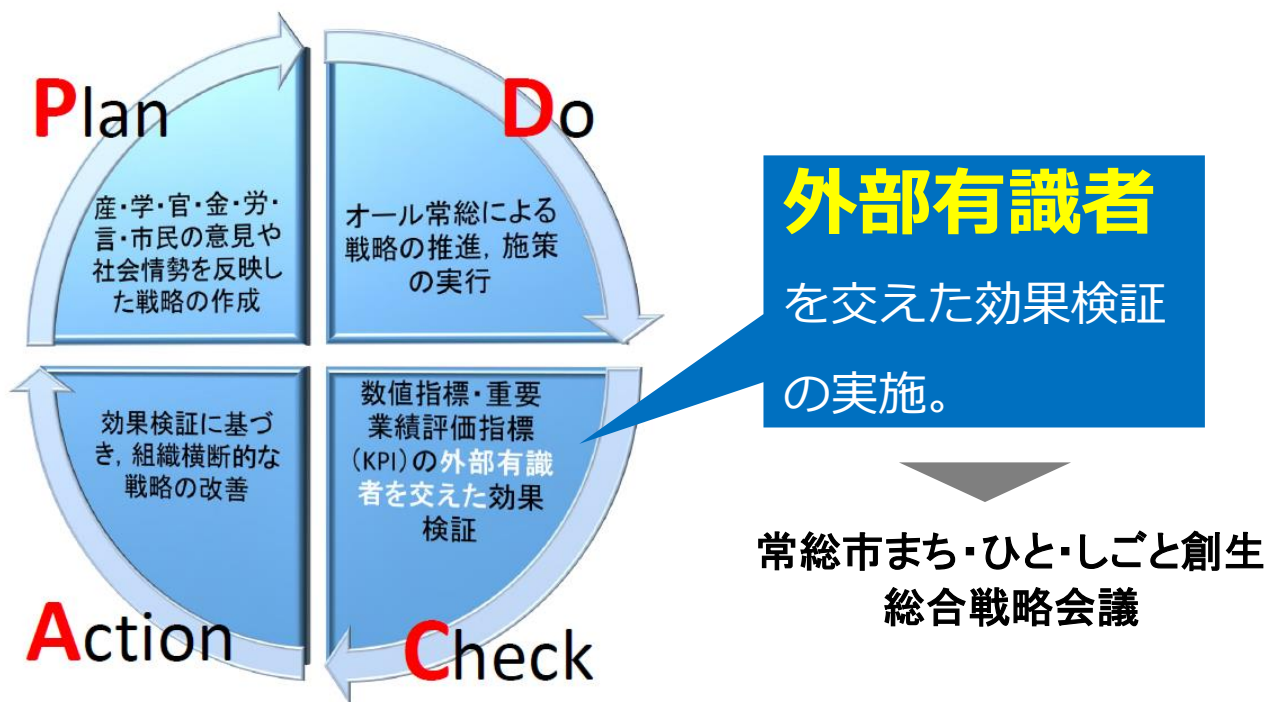
## 重点分野・戦術 KPI

- 12 個の戦略 KPI ごとに3つの**重点分野**と**戦術 KPI**を設定（ $12 \times 3 = 36$ ：重点分野は合計 36 個 = 戦術 KPI の数）

## 主要施策

- 36 個の重点分野に合計 105 個の**主要施策**を設定

PDCA サイクルによる進捗管理。



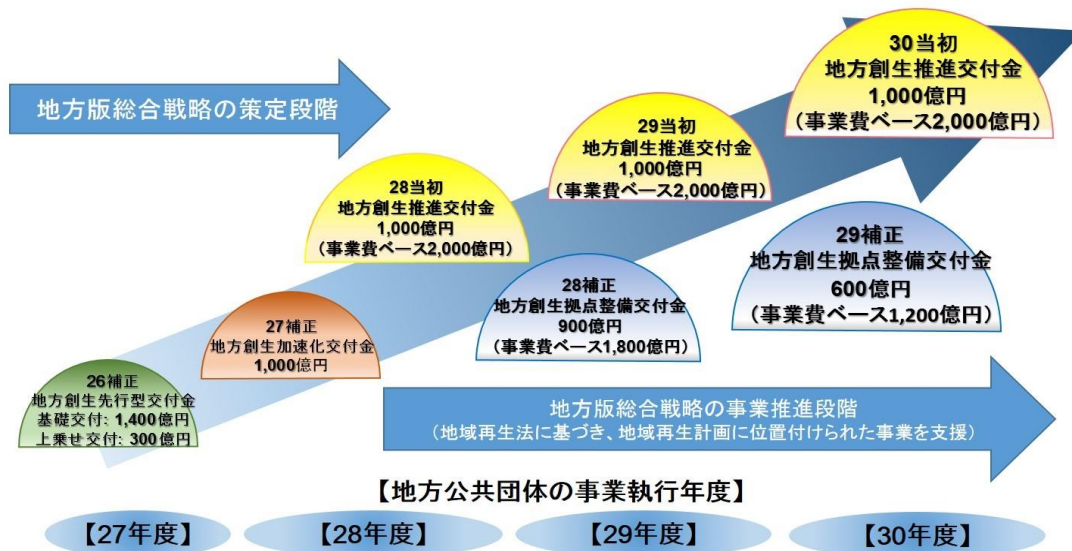
# 地方創生関係交付金



# 地方創生交付金の概要①

## 地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



※内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局ホームページより。

- ① 地方公共団体での地方創生を推進するため、国は様々なメニューの交付金を創設した。
- ② 常総市でも交付金を活用し、様々な事業を実施している。
- ③ 交付金を活用して実施した事業は、**外部有識者**による**効果検証**を行い、国へ報告する**義務**がある。

まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で効果検証！

## 先行型交付金

- ・ 地方公共団体による総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良事業の実施に対する支援。

## 加速化交付金

- ・ 総合戦略に基づく自治体の取り組みについて、先駆性を高め、レベルアップの加速化を図るための支援。

## 推進交付金

- ・ 総合戦略に基づく自主的な取り組みのうち、地域再生法に基づく地域再生計画に認定された、先導的な事業に対する支援。

## 拠点整備交付金

- ・ 総合戦略に基づく自主的な地域拠点づくりの事業のうち、未来への投資の実現につながる先導的な施設整備に対する支援。

# 交付金事業評価結果

**これより先、交付金対象事業の概要と、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員(市民有識者)のみなさまから実際にいただいた評価結果ととなります。**



**交付金区分**

地方創生拠点整備交付金  
(補助率: 1/2)

**事業年度**

平成28年度  
※翌年度へ繰り越し

**総事業費**

129, 286, 800円  
※交付金以外も含む

**交付決定額**

60, 250, 000円

**実績額**

59, 736, 000円

**事業概要**

平成27年9月の関東・東北豪雨災害により全壊した「大生公民館」を再建し、コミュニティの再生・有事における一時的避難所・ボランティアの拠点として活用する。

**事業内容**

- 大生公民館建設工事(建屋建築、地盤改良、電気設備、機械設備、他)
- 外構工事



大生公民館 外観



大生公民館 ホール



大生公民館 調理室



大生公民館 屋上

## 事業担当課の評価

生涯学習課

### 【事業効果】

- 地方創生に非常に効果的であった
- 地方創生に相当程度効果があった
- 地方創生に効果があった
- 地方創生に効果がなかった

### 【事業成果】

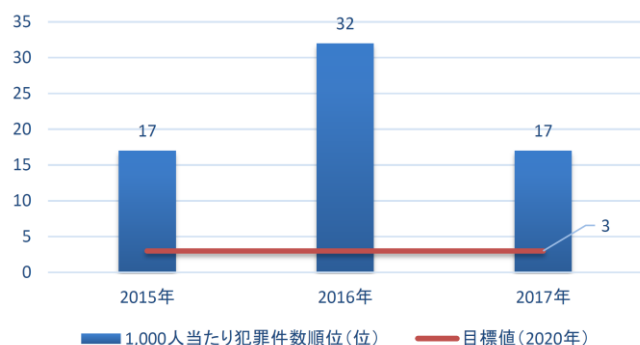
浸水被害により解体を余儀なくされ、建設中であった大生公民館が平成30年1月に竣工した。新館は、水害の教訓から構造を非木造とし、災害時は一時的な避難所として機能するよう2階に調理室や和室を設け、いち早くボランティアの拠点としても利用できるなど災害に強い公民館として再建した。

このことにより、水害以降失っていた地域住民のコミュニティが再生され、交流拠点の整備ができたと考えられる。

今後は、単なる公民館としてだけでなく、平時から有事の際にも機能する特徴ある施設として、防災をはじめ様々な学習機会や発表の場として、また、市民が活用できる全市的なコミュニティの拠点として更なる活性化を目指す。

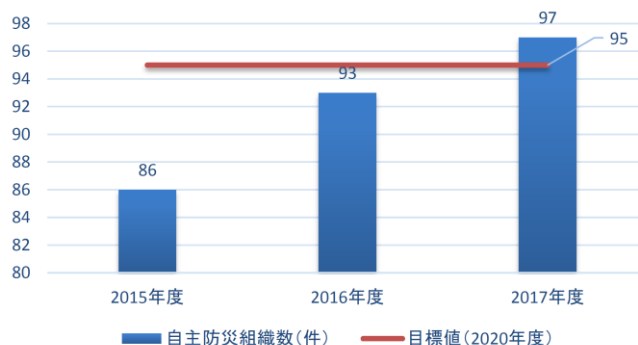
### 戦略KPI

1,000人当たり犯罪件数順位



### 戦術KPI

自主防災組織数



## 戦略会議(市民有識者の評価)

### 「総合戦略の KPI 達成に有効であった！」

平成27年9月関東・東北豪雨により全壊した大生公民館が再建されたことで、平成30年8月に開催された大生地区の夏祭りなど、そこに市民が集えるようになったことで地域コミュニティの再構築に寄与できた。また、戦術KPI「自主防災組織数」が年々増加していることを鑑みると、市民の防災意識の向上についても有効であった。よって、総合戦略のKPI達成に有効であったと評価できる。今後は、地域住民と行政、更には、市内在住の防災士により結成された「防災士連絡協議会」が連携し、防災先進都市を目指した幅広い活用方法を模索していただきたい。



戦略会議

**交付金区分**

地方創生拠点整備交付金  
(補助率: 1/2)

**事業年度**

平成29年度

**総事業費**

31, 244, 400円  
※交付金以外も含む

**交付決定額**

15, 625, 000円

**実績額**

15, 622, 200円

**事業概要**

子育て世代をターゲットに、親子で「遊び・学び・くつろぎ・食べられる」コンテンツを提供し、集えて休憩できる場所として、豊田城(地域交流センター)の3階及び4階を改修した。

**事業内容**

- 3階部分をキッズフロアに改修(授乳室・おむつ替え室・デジタル機器の設置)
- 4階部分をデジタルミュージアムに改装(バーチャルフィッティング等の設置)



豊田城3階 授乳室・おむつ替えコーナー



豊田城3階 ヒストリーコレクションウォールテーブル



豊田城3階 ヒストリーコレクションウォールテーブル



豊田城4階 バーチャルフィッティング

## 事業担当課の評価

生涯学習課

### 【事業効果】

- 地方創生に非常に効果的であった       地方創生に相当程度効果があった  
 地方創生に効果があった               地方創生に効果がなかった

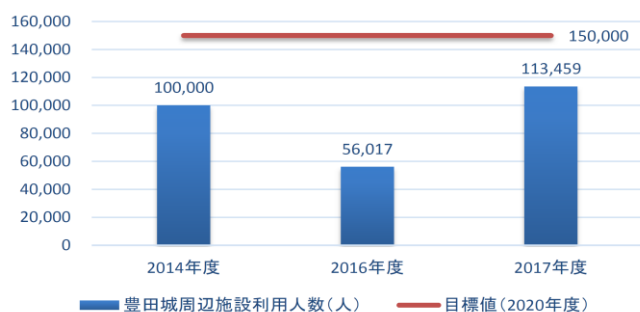
### 【事業成果】

地域交流センターは、平成28年度の5階・6階に続き、平成29年度において3階及び4階を改修し、全面的なリニューアルを行った。平成28年度改修で再開となった平成29年度は、16,870人（ホール利用を除く）の来館があり、約6,000～7,000人で推移していた水害前と比較し、おおよそ2.5倍の伸びとなった。平成29年度改修による3階・4階の再開は平成30年5月からであるため、これによる影響は年度末を待たなければならないが、6月末時点で5,926人の来館があり、前年度を上回るペースである。当該事業によって改修した3階の「ヒストリーコレクションウォール」や4階の「バーチャルフィッティング」は、デジタル技術を駆使して当市の歴史を楽しく学び体験できるツールとなっており、授乳室も完備したことにより、子育て世代の方々にも楽しめる施設として更なる活用が期待される。

今後は、当館を拠点として市内に点在する文化・歴史施設や観光施設、物産施設等との結びつきも確立し、交流人口の増加と地域の活力向上を図っていく考えである。

### 戦略KPI

豊田城周辺施設利用人数



### 戦術KPI

豊田城内利用人数



## 戦略会議(市民有識者)の評価

### 「総合戦略のKPI達成に有効であった！」

戦略KPI「豊田城周辺施設利用人数」、戦術KPI「豊田城内利用人数」とも増加していることを鑑みれば、豊田城(地域交流センター)をリニューアルしたことは、総合戦略に掲げるKPI達成に有効であったといえる。また、インターネット上での口コミ評価も高く、子育て世代を対象とした親子で楽しめる施設が加わったことで幅広い市民に利用されることが期待できる。ただし、従来からの展示物は旧石下町由来のものが中心である印象があるため、旧水海道市の歴史的なものも展示していただきたい。今後は、VR(バーチャルリアリティ)を駆使した体験型のコンテンツや、外国人移住者の多い当市の特長をいかした異文化交流の拠点にするなど、様々な活用方法を模索していただきたい。



戦略会議

評価結果は以上です。  
ここまでお読みくださり、ありがとうございます。  
今回は、どちらの交付金事業についても、「**総合戦略のKPI達成に有効であった**」というありがたい評価をいただきました。しかし、それと同時に数々の付帯意見もいただきました。頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の地方創生に活かしてまいります。





